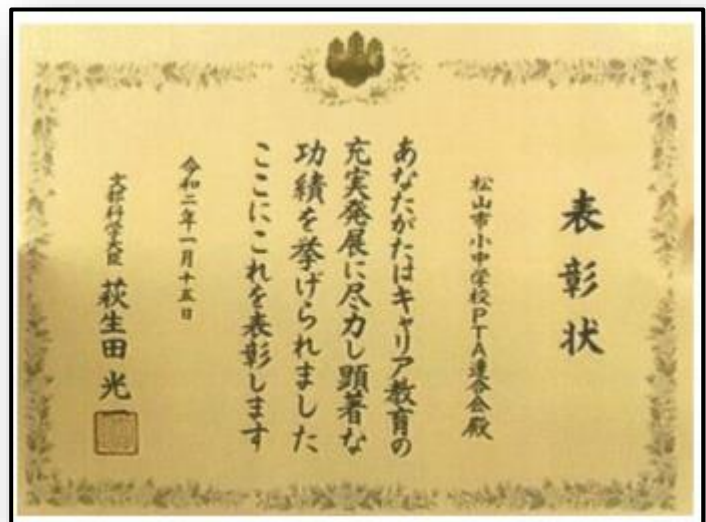


第 13 回キャリア教育優良教育委員会、
学校及び P T A 団体等
文部科学大臣表彰
受賞団体における推薦理由



<文部科学省ホームページより抜粋>

＜愛媛県＞（種別：教育委員会）宇和島市教育委員会

-----推薦理由-----

市教育委員会として、市内校長会ジョブチャレンジ実行委員会の強力な実践力及び地元企業の協力を得て、平成30年度及び令和元年度の2年間、「UWAJIMA ジョブチャレンジU-15」（5日間の職業体験学習）及びその事前指導としての「UWAJIMA ジョブチャレンジU-15 スタートセッション」を通して、中学生の勤労観及び職業観を育んできた。これらの取組により地元の中学生に自分の将来の生き方を考えさせるとともに、将来の宇和島を担う人材の育成につなげることを目的として、キャリア教育を推進している。主な内容は次のとおりである。

1 「UWAJIMA ジョブチャレンジU-15 スタートセッション」（事前指導）

○ 内容

- ・講演「宇和島で学ぶ君たちへ」 宇和島市教育委員会教育長
- ・インタビューダイアローグ
地元起業家、県外関係者、行政関係者、地域おこし協力隊、生徒代表
- ・意見交換

○ 参加者

職業体験学習を実施する中学生、教職員、実行委員（中学校長、教育委員会指導主事）、小学校校長、来賓（市長、議長、商工会議所会頭、受け入れ企業等）

2 「UWAJIMA ジョブチャレンジU-15」（5日間の職業体験学習）

○ 趣旨

- ・宇和島の子どもたちの勤労観及び職業観を育成する。
- ・宇和島の子どもたちが、「ふるさと宇和島」を知る機会とする。
- ・宇和島の子どもたちを、受入事業所等と連携し、共に育てる。

○ 実施期間

各学校の実施期間については、5日間とし連続か分散かについては、各学校の実態に応じて実施する。各事業所へに受入日数については、5日間あるいはそれ以外の日数でも可としている。

○ 企業等へ協力依頼

年度始めに市内の企業等に対して協力を依頼した。平成30年度、受け入れを希望した企業等は154であった。

○ 中学校への連絡

受け入れ企業等のリストを各中学校に配布した後、各学校が受け入れ企業等に連絡をとり、5日間の職業体験学習を実施している。

＜愛媛県＞（種別：学校）松山市立久米中学校

-----推薦理由-----

松山市立久米中学校は、「地域からの支援」と「地域への貢献」の2本柱で、相互扶助のバランスを保ちながら、学校と家庭・地域が協働するより良い関係を築いている。

「地域からの支援」の一つとして、職業体験学習における受入事業所情報の提供を受けている。「地域への貢献」としては、各種ボランティア活動への生徒の積極的な参加などの取組が見られる。

1 公民館等の協力による校区内での5日間の職業体験学習

学校と公民館が協力し、280名を超える2年生を、生徒の希望を考慮しながら公民館が紹介した82の事業所に割り振り、夏季休業中に2日間と秋に3日間の合計5日間の職業体験学習を実施している。校区内の事業所での職業体験学習は、生徒にとって地域のよさや産業を改めて見直す契機となり、ふるさとへの愛着を育む活動となっている。

2 ボランティア活動を通じてのキャリア教育

地域の様々なボランティア活動に参加し、活動を通じて、「社会人として自立した人を育てる」という素地が身につく。

○ ふれあい食堂ボランティア

ふれあい食堂は、独居老人や子どもの孤食を防ぎ、地域のコミュニティを深めている。毎月3回程度木曜日の夜に開催しており、生徒は公民館の婦人部の方々が作った食事を配膳したり、片付けたりしている。

○ 来住廃寺祭ボランティア

地域の夏祭りの活性化のために、バザーの手伝いをしたり、来場者を案内したりするなど生徒が積極的に活動している。

<愛媛県> (種別：学校) 愛媛県立吉田高等学校

推薦理由

愛媛県立吉田高等学校は、普通科、工業科設置校として、それぞれの学科の特性や生徒の発達段階に応じたきめ細かなキャリア教育を実践している。特に工業科では、地域と連携した様々な取組により、生徒のキャリア発達を促し、社会人基礎力を育成している。

○ マッチングフェアの実施

1・2年生の工業科生徒を対象に、企業と高校生のマッチングフェアを行っている。企業が求める人材を理解し、ミスマッチを防ぐ取組として有意義である。

○ インターンシップの実施

2年生全員が、生徒の希望に合わせて、普通科は3日間、工業科は5日間のインターンシップを実施し、体験的な活動を通して、勤労観及び職業観の育成を図っている。

○ キャリア教育講演会の実施

1年生では、キャリア教育に関する講演会実施のほか、総合的な探究の時間を活用して「職業調べレポート」を作成している。様々な職業に対する興味・関心を高めさせるとともに、キャリア形成に向けた実践的な取組を行っている。

○ 「匠の技教室」の実施

工業科生徒を対象に、企業技術者等による実技講習や講演会を実施している。生徒の学びへの意欲を喚起し、進路意識を高める取組である。高度の技術・技能を身につけた生徒が、各種技能士や第一種電気工事士などの難関資格を取得しているほか、毎年高校生ものづくりコンテストなどの全国大会に出場している。

○ キャリア教育に係る情報発信

キャリア教育の実施状況を、随時ホームページにも掲載し、保護者や企業に情報を発信している。

<愛媛県> (種別：団体) 松山市小中学校PTA連合会

推薦理由

平成26年度から毎年市内の公立小中学校性を対象に「キッズジョブまつやま」を開催し、仕事の意義、仕組み、やり方等体験を通して、働くことの楽しみや厳しさを学び、関心のある職業への理解を深め、将来を考えるきっかけを提供している。

PTAのネットワークを活かし、地元企業を中心に関係機関等の協力を得ながら事業を展開している。実際に使っている資機材の活用で、現実に近い状況で、多様な職業体験ができるほか、地元への愛着を育むためのイベントとなっている。

【H30実績】

会場：松山市総合コミュニティセンター

参加者：低学年班（小1～小4）714名

高学年班（小5～中3）873名 計1,587名

体験ブース：全61職種（63ブース）

市長、教師、保育士、薬剤師、新聞記者、アナウンサー、キャビンアテンダント、消防士、自衛隊員、銀行員、パティシエ、舞台俳優、船員、郵便局員、臨床検査技師、調理師、建築士 など

出展業者：517名

ボランティアスタッフ：約300名

参加者は、2班に分かれ、希望の職業を選び体験する。